

第8回平戸市行政改革推進委員会議要点録（事務局用）

日 時	平成28年11月25日（金） 13:00～15:20
場 所	平戸市役所4階 小会議室
出席委員	別紙のとおり
事務局	松田総務部長、（行革推進課）平松課長、石田班長、長嶋主事

【次第】

1. 開会
2. 議事
 - (1) 行政改革推進計画中期プラン（案）について
 - (2) 公共施設等総合管理計画施設評価基準について
3. その他

委員名	質疑等
事務局	定刻になったので、第8回平戸市行政改革推進委員会を始める。開会にあたり、松永会長より一言あいさつをお願いします。
会長	皆様、本日はお集まりいただきありがとうございます。本日は、行政改革推進計画中期プラン（案）および公共施設等総合管理計画における施設評価基準について議論いただく。それでは、事務局より説明をお願いします。
事務局	資料に沿って、行政改革推進計画中期プラン（案）を説明。
会長	今の説明に対して、意見をお願いします。
委員	整理されて見やすくなっている。所管課の考え方で、複数課にまたがる項目の進め方が見えない。
事務局	複数課にまたがる項目は、取りまとめを行なう課を上段に書かせていただいている。
委員	例えば、公用車配置の適正化は所管課等が総務課となっているが、適正化が進んでいない場合はどうなるのか気になる。行革推進課が取組みの進捗管理を行なうのか、総務課に一任して進める場合、その進捗管理は誰が行なうのか。
事務局	ここに記載している所管課等については、所管課とヒアリングを行なった上で決めており、基本的に所管課が責任を持って実施することとしている。
会長	作業部隊は所管課であって、行革推進課は最終的な管理を行なうということか。
事務局	先日、平成27年度行政改革推進計画実績（案）を報告させていただいたが、今後もこのような形で行革推進課が取りまとめをしていく。取りまとめた結果は議会

	<p>や広報等で公表することとしている。各取組みのチェックについては、行政改革推進本部で協議することとしている。</p>
委員	<p>項目 31 の分譲住宅の売却について、どの程度残っているか分かれば教えていただきたい。</p>
事務局	<p>詳細は分からないが、半分程度残っていると聞いている。</p>
委員	<p>項目 33 の有料広告化の推進について、全ての広告物について有料化するという考えか。</p>
事務局	<p>屋外広告物については県で定められている条例があるのでそれに準ずる。新たな分としては、例えば広報ひらどや公用車を利用した広告料収入などを考えている。</p>
委員	<p>計画の内容は良いと思うが、進捗管理が大事だと考えている。行革推進本部でのチェックを行なうとの話だが、行革推進課主導で、各課がどの程度進んでいて、進捗が遅れていればどうするかといったところまで管理していただきたい。そうではなく、そこまで含めて所管課に依頼するものなのか、そこが見えない。</p>
委員	<p>項目には良いことが書かれているが、その項目と取組内容が合っているのか気になる。ただ形だけやっているというだけにならないか心配である。さきほどの話の通り、どう進んでいるのか進捗管理が重要だと思う。</p>
事務局	<p>項目と取組内容については、ヒアリングを実施しているので調整が図られていると考えている。その際、進捗管理についても所管課で行なっていただくよう調整したところである。場合によって、全体の進捗管理は行革推進課がしなければならないとも思う。</p>
委員	<p>例えば項目 35 の収納率の維持向上について、収納率を上げていくということで書かれていると思うが、具体的にどうやって収納率を上げるのか分からない。各課とのヒアリングを進めているのであれば、どうやっていくのかまで聞きとって記載すればわかりやすい。</p>
委員	<p>項目 17 の人事評価制度の有効活用について、本当に導入するのか。人事評価は評価者が被評価者のことを分かっていると正確な評価ができないため、地方自治体のような異動が頻繁に行なわれる組織で機能するのだろうか。国、他自治体でも導入実績があるが、ほとんどうまくいっていない。導入については慎重に判断いただきたい。</p>
事務局	<p>人事評価システムは3年前から研究をしており、昨年導入済みである。昨年は管理職のみを対象としたが、今年からは全職員を対象に実施することになっている。平戸市の人事評価の特徴としては、優劣をつけるわけではなく、基本的な業務ができ</p>

	<p>ているかという視点で評価することになっている。基本的な業務から、さらに優れた成績を残せば高い評価になり、逆に基本的な業務に劣っていれば低い評価となる。評価方法も、1次評価、2次評価といった形で一人の意見だけで左右されないような運用をしている。</p>
委員	<p>逆に部下から上司の評価というのはないのか。</p>
事務局	<p>民間だとその評価もあると聞いている。職員からも導入すべきという意見もあるので、今後の検討課題である。また、課題と言えば、各自で目標設定してもらってその内容を評価するシステムであるが、目標設定レベルが業務内容や個人で異なるため、その統一に苦慮している。</p>
委員	<p>評価については理解した。人材育成についてはどのように考えているのか。</p>
事務局	<p>職員の質が落ちているという話もちらほらあり、人材育成は大きな課題である。上司が部下の管理指導を徹底しなければならないと感じている。</p>
会長	<p>人事評価システムの維持管理費はどの程度かかっているのか。</p>
事務局	<p>初期投資で600万ほどかかったが、ランニングコストは100万程度である。</p>
委員	<p>実施スケジュールで検討実施や実施運用という言葉があるが、これはどう定義されているのか。</p>
事務局	<p>検討、調査、試行、実施、運用等の定義については、中期プランの導入部分に記載することになっている。</p>
会長	<p>他になければ、議事（2）公共施設等総合管理計画施設評価基準について事務局より願います。</p>
事務局	<p>資料に沿って、公共施設等総合管理計画施設評価基準について説明。</p>
会長	<p>それでは、今の説明について意見を願います。</p>
委員	<p>目標値について、九州内の類似団体を参考にされたとのことだが、人口的に類似ということか。</p>
事務局	<p>その通り。地理的な条件は考慮していない。</p>
委員	<p>地理的な条件も考慮してほしいと思った。平戸市は南北に長く、離島も含む特殊な地理条件であり、故に施設の効率化が図れないところもある。そこを加味したほうが、正確な目標値になるのではないか。</p>

委員	<p>各学校の生徒数が非常に少なくなっている。この前、志々伎小学校を訪ねると、生徒数が35人程度しかいないとのことだった。1学年に6人くらいだったら、子供のためにも学校統合すべきだと思う。この辺りの話は、まだ進んでいないのか。</p>
事務局	<p>平戸市立学校適正規模・適正配置について、教育委員会は現場で話をしながら進めている。まずは、完全複式学級を解消することを目標に話を進めていくこととしているが、強引に進める訳にはいかないの、保護者や地域の合意を得ながら進めていく。合併となれば、スクールバスの整備も併せて行なうことになる。</p>
委員	<p>保護者や地域の合意を得ることは一筋縄ではいかないだろうが、出来るところから着実に進めていただきたい。</p>
委員	<p>志々伎小学校は長崎県で一番古い学校で、明治年間には高等小学校として各地から生徒が訪れていたという歴史がある。平戸市として考えると、必ずしも効率的、合理的という考えだけでは片付けられないのではないだろうか。平戸市として考えた場合、一箇所に施設が集中するのではなく、各地区に拠点となる施設を残してもらえば地域活性の一助になると考えている。</p>
委員	<p>若者が平戸に住む条件として、仕事の次にくるのが学校、保育園である。統合して遠い場所になってしまうと、ますます平戸離れが進む恐れもある。学校というのは地域の拠点になる施設なので、生徒2名しかいなくても運営している学校もある。人を集めるという観点で、学校の存在は大きいので軽視しないでいただきたい。東京の月島では、老人ホームと保育園が一緒になっている施設がある。セキュリティさえしっかりしていれば、学校との複合施設が増えてもいいと思う。シンガポールは優れた産業はないが、人材育成で成功している。平戸も人を育てるまちとしての発展を描いて施設の方向性を考えるとうまくいくのではないかと。</p> <p>また、最初に類似団体の話があったが、平戸は特殊な地理条件で合併しているため、類似団体にこだわりすぎないほうがよい。</p>
委員	<p>へき地保育所も木ヶ津が廃止になり、早福、根獅子も廃止の方向にある。平戸市は3子目からは保育料無料だが、保育料払ってでもへき地保育所を利用したいという需要もある。様々な利害関係が絡み合う難しい問題だと思うが、子供の教育という観点から何が望ましいのか考えたほうがよい。</p>
委員	<p>ここで結論は出せないが、教育関連施設については慎重に判断いただきたい。</p>
事務局	<p>当然廃止したほうがよい施設と、費用がかかっても残すべき施設があるので、議会にも報告しながら慎重に進めなければならないと思っている。学校についても、どこどこを合併するといった内容ではなく、複式学級になっている学校を対象に合併の話をしているが、折り合いがつかなければ強制はしていない。</p>

委員	類似団体の平均に合わせようとしているが、絶対そうしなければならないのか。
事務局	おおよその人口と産業規模が類似している自治体で、陸続きの自治体もあれば、五島、対馬といった離島も含めた平均ではある。一般的に類似団地に近づけるといのが目標になるのであって、必ずしもそうしなければならない訳ではない。
委員	観光のためとして、3000万円かけて鄭成功の山門を作ったりしているが、一方では金をかけれないと言う矛盾を感じる。
委員	鄭成功の山門は観光客を呼び込む施設として良いと思う。島の館やオランダ商館も、もっと金をかけて豪華にしていって、それ以外のところを削っていけばいいのかなと思う。ようは、平戸市は観光地として外需を得なければ生き残っていけないから、そこに力を入れることが重要だと考える。4市町村が合併したのだから、不必要な施設は少ない。例えば、田平支所の3階が持て余しているの、町民センターでしていることは支所に集約してしまえるのではないか。また、武道館や体育館も人口が減っていく中、どれだけの需要があるのか疑問ではある。学校の体育館を利用したり、文化センターを利用すれば需要は満たせるのではないかと思ってしまう。田平の施設は田平の者、平戸の施設は平戸の者だけが利用するという観念が、できない理由になっていないか。
委員	行政でどの施設を廃止したほうがよいという考えは持っていてもよいが、それを地域協議会の中で議論してもらうのもいいかもしれない。この前の地域協議会でどうなっているのか尋ねられた際、まだ決まっていないと答えているが、2月の地域協議会の中では生月の施設がどういう方向か示したい。この資料を利用して、どういう施設があって、どう考えるべきか地域協議会で議論してほしいという要望はないか。
事務局	総合管理計画の中で具体的施設名をあげて記載することは避ける方向で考えている。最終的に外部に見せる部分としては、施設類型ごとの方向性であったり、地域の方向性であったりするが、その方向性が妥当で可能か見極めるために、敢えて個別施設について見ている。本日の資料については、まだ議会にも示していないものになるので、慎重に取扱っていただきたいと思っている。
委員	生月斎場は廃止が決まっているとなっているが、これは議会も通った決定事項なのか。
事務局	生月町の地域協議会議事録にもあったので読ませていただいた。移動の問題であったり、使用料の問題であったり、整理できていない部分があるので、来年度廃止の方針は掲げているが、決定ではない。生月町独自の慣習もあるので、お寺や葬儀社との調整も必要になる。
委員	斎場の集約は仕方が無いという雰囲気はあるが、最後まで残してもらいたいとい

	<p>う意思表示として署名を集めようという流れもある。もし、議会で決定している事項なら意味がないと思ったのでお尋ねした。そこまでして駄目なら、納得できると思う。</p>
委員	<p>平戸に集約して、火葬時間短縮できるといっても、移動負担の理解を得るのはなかなか難しい。また、日を見るので、都合の良い日が1週間後となれば、その間拘束されるため、反対が起こると思う。</p>
事務局	<p>生月斎場との集約を見越して、平戸斎場は炉を2機増やしている。そのため、平成30年度以降の生月斎場に予算がつかなくなる可能性がある。</p>
委員	<p>例えば、今すぐ集約せず、10年間はどちらも使えるようにして、少しずつ推移させることはできないのか。</p>
事務局	<p>難しいと思う。</p>
委員	<p>田平も松浦まで移動して火葬しているので、生月も平戸まで移動して問題ないという話になるのは十分理解できるが、いろいろな慣習があるのであれば尊重すべきである。</p>
委員	<p>平戸斎場の炉は3機だと思うが、2025年問題にあるように、今後1日で5人、6人お亡くなりになることも十分にあり得ることを考えると、今集約して問題ないか心配である。</p>
事務局	<p>所管課に聞いている内容でお伝えしているので、それ以上はなんとも言えない。</p>
委員	<p>教育施設について。さきほど学校もへき地保育所も人数が減っているので、統合廃止を検討するという話であったが、逆に人数が減っているので教育が行き届くという面もある。ある地区では、田舎であるが故に教師が教育熱心になって、有名大学の進学率が上がったという話もある。父兄さんにもどれだけ学校の維持費がかかっているか、父兄の負担はどれくらいかを数字で示して、それを踏まえてどう考えるのか話をしていけば納得してもらえないのではないか。</p>
委員	<p>病院施設について。生月病院と平戸市民病院があり、かなりの費用がかかっていると想像するが、合併という検討はされていないのか。</p>
事務局	<p>病院のあり方検討委員会では、存続という方向性である。病院という市民生活に身近な施設であるため、廃止反対の意識が強い。診療所としてスリム化を図るといった意見もあったが、現時点では現状維持となっている。決算を見れば生月病院については若干黒字ではあるが、病床稼働率も思わしくない状態なので先行きは不安である。また、医師不足の問題もあり、今後違う方向性の話がでてくる可能性はある。</p>

会長	廃止する施設の今後について、売却するとか譲渡するとか、そういう話は別の会議で進めると思ってよいか。
事務局	具体的な部分は、実施段階での話しになる。
委員	生月の農業集落排水施設についてはどうする予定か。毎年 2000 万円ほど費用がかかっていると聞いているが、合併浄化槽にし直した場合と、現状維持の場合での比較をして判断すべきだと思う。
事務局	その比較をした結果、合併浄化槽にし直す費用のほうが高かった。そのため、現状維持するしかないと判断している。
委員	ライフカントリーについて、ここでは管理棟などの施設だけの話をしているのか。
事務局	基本的にハコモノに限定した話をしている。
委員	今年開催された年輪ピックの関係で、昨年グラウンドの利用が制限された経緯がある。ラグビー協会から合宿に使いたいという要請もあったが、スパイク禁止と言われて受入が難しい。せっかくいいグラウンドなのに、天然芝にこだわるあまり、利用が狭まっていないかを感じる。サブグラウンドを整備するとか、もっと有効活用できる方法があると思う。
委員	利用者の欄で、利用者がいないところは〇でよいが、利用者自体把握できないところはハイフンにするなど整理していただきたい。
会長	他になれば、次回開催日程について事務局よりお願いする。
事務局	今回の資料を整理して、所管課とのヒアリングを予定している。その後、本委員会で報告させていただきたいので、12月20日前後で調整させていただきたい。 12月21日（水）13:00～で調整
会長	以上で、第8回平戸市行政改革推進委員会を終了する。

平戸市行政改革推進委員会委員（名簿）					
区分	氏名	所属・企業名	地区	職務	出欠
学識経験者	松永いづみ	松永いづみ税理士・行政書士事務所	平戸	会長	○
企業経営者	福田 詮	福田酒造（株）	平戸		○
	井元 宏三	（有）マルイ水産商事	生月		○
	吉永 享助	（有）平戸口 吉善商店	田平		○
市民代表者	黒崎 洋介	平戸市地域審議会委員	平戸		○
	岩井 誠	生月町地域協議会委員	生月	職務代理者	○
	早田 博子	田平町地域協議会委員	田平		○
	田中 範子	大島村地域協議会委員	大島		×
	松口 茂生	平戸市PTA連合協議会	平戸		○